

第101回 全国高校野球 青森大会

光星 圧巻6アーチ

大間 1安打で力負け

▽1回戦（八戸市長根公園）
八学光星 0341095022
大間 0001005002
（五回コールド）

（八）山田、横山海、渡邊、横山大、後藤、太山、中澤
（大）鈴木、佐々木優、鈴木岡本
▽本塁打 近藤、原3、川上、下山（八）
▽二塁打 伊藤、武岡、道江、近藤2、島袋（八）
▽暴投 鈴木2、佐々木優（大）

【評】八学光星が夏連2者連続本塁打で3点を朝へ好発進を切った。初先制。二回以降も途切れ回、3番近藤と4番原のることなく打線がつながり、18安打、6本塁打、22得点と圧倒的な打撃力で快勝した。大間は、5人の相手投手を攻略できず1安打、ないままコールドで敗れた。

ハイライト

春の山田高戦糧に

1回戦から登場した八学光星は、大間投手陣に計6本の本塁打を浴びせ圧巻。春、青森山田に初戦で敗れた苦い記憶を糧に、夏連覇へ好スタートを切った。猛打の光星らしさが際立つたのは四回。今夏から主砲を任された原が、甘く入った直球を芯で捉えた。「打った瞬間入ったと思った」という打球はぐんぐん伸び、スタンドに突き刺さった。火が付いた打線はさらに勢を増す。代打・川上が満塁弾を打ち、打者一巡で再び打席に立った原が、1イニング2打席連続本塁打。圧巻の攻めで一挙9点を挙げた。

原3発連覇へ好発進 光星



【八学光星—大間】4回表、光星1死二、三塁、4番原が大会記録タイとなる3本目の本塁打を打ち、17—0とリードを広げる—八戸市長根公園

原は大会記録タイとなる1試合3本塁打。「春に負けて以降、青森山田にはもう負けられない、と必死に振り込みを続けた」（原）。その結果が、初戦から実を結んだ。センバツは涙をのんだが、目標は今年こそ全国制覇。仲井監督は「大事なのは自分たちの力を最大限発揮すること。この勢いを大事にして次戦に臨みたい」。間もなく顔を合わせるであろうライバルとの戦いを前に、慢心は一切見せなかった。

（大久保拓也）